

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2018
富士スピードウェイ
2018年6月1日(金)

予選

天候:曇り 路面:ドライ



スーパー耐久シリーズ第3戦は、富士スピードウェイを舞台に国内では10年振り、富士では50年振りとなる24時間レースとして開催された。

- TOM'S SPIRITは、昨年まで共に参戦してきた蒲生尚弥選手をDドライバーとして迎え、4名のドライバーで24時間を戦う。
- 24時間大会ではA～Fドライバー6名までの登録が許されているが、A、Bドライバーの合算タイムで順位が決まる事に変更はない。
- Aドライバー予選ではトップタイムにコンマ2秒届かず3番手となるが、Bドライバー予選では唯一56秒台に入れるトップタイムを記録し、合算タイムで開幕戦から3戦連続のポールポジション獲得となった。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	1'57.917
坪井 翔			1'56.819
中山雄一			1'57.945
蒲生尚弥			1'59.182

気 温	22.6°C	※Aドライバー予選スタート時
路面温度	43.0°C	



松井孝允【Aドライバー】

事前にチームと車の方向性がしっかりとできていて、持込みの車もバッチリ決まっていたので、ポールポジションを取る事ができました。Aドライバー予選からBドライバーの坪井選手へセットを変える事で良かったので、チームとしてポールポジションを取れて良かったです。決勝は長いので、しっかりとタスキを繋ぎ勝てるように頑張ります。

坪井 翔【Bドライバー】

練習走行からマシンバランスも良く、調子が良かったです。Aドライバーの松井選手の予選時のフィードバックのお陰で良いアタックができて唯一の56秒台に入れる事もできたので、アタックには満足しています。決勝は24時間と長いので予選結果は重要ではないですが、貴重な1ポイントも取れてモチベーション高くレースに挑めます。

中山雄一【Cドライバー】

松井選手と坪井選手の好タイムでポールポジションを獲得し、ガソリンの軽い状態でのマシンの調子は良い事は明らかでした。私は決勝に向け少し多めのガソリンを積み、中古タイヤで走行しました。決勝を想定したマシンコンディションでもフィーリングは良く、24時間に向けて自信が持てる予選となりました。

蒲生尚弥【Dドライバー】

久しぶりに86号車に乗りましたが、去年よりも更に進化していて乗りやすい車に仕上がっていました。調子は良いので決勝はミスなく走ります。

三塚 隆【チーム代表/監督】

A、Bドライバー共に若干のタイムロスはありましたが、良い予選ができポールポジションが取れました。C、Dドライバーはレースセットに戻し、最終確認ができ決勝の準備はできたと思います。

TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2018
富士スピードウェイ
2018年6月2日(土)～3日(日)

決勝

天候: 晴れ 路面: ドライ



- 2日(土)15時から24時間レースのスタートが切られた。
- 24時間レース中、スタートから20時間以内に8分間のメンテナンスタイムが2回義務付けられている。
- スタートドライバーの松井選手から、坪井選手、中山選手とトップのまま順調に周回を重ねる。
- 5時間40分程経過した160周目にFCYが導入された為、予定より早目となるメンテナンスタイム1回目を消化し蒲生選手へとドライバー交代を行う。
- 11時間を経過する頃に、SC導入から35分程の赤旗中断もあったが、2位以下を周回遅れにする快走をみせる。
- しかし、12時間20分程経過した367周目にリアから白煙が上がり緊急ピットイン。駆動系のトラブルの修復に時間を要しコースに送り出した時には8位まで順位を落としてしまった。
- その後、残り10時間程の間、4名のドライバーが懸命に追い上げ、4位までポジションを戻し24時間後のチェッカーを受けた。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	4位	1'59.449
坪井 翔			1'59.008
中山雄一			1'59.263
蒲生尚弥			1'59.618

気温	26.1℃	※決勝グリッド
路面温度	42.1℃	



松井孝允【Aドライバー】

スタートからマシンバランスも良く、ドライバーもしっかりとタスキを繋ぎながら順調に進んでいました。しかし、トラブルに見舞われ、その中でもメカニック、チームの皆が迅速な作業でコースに送り出してくれたお陰で4位とチェッカーを受ける事ができました。チャンピオンシップに向けては、残りのレース全部勝ちに行きます！応援ありがとうございました。

坪井 翔【Bドライバー】

24時間レースは僕にとって初めての経験でしたが、チームメイト3人はニューで経験していますし、24時間レースをする上での走り方や、休息の取り方などを教えて頂きながらレースに挑みました。予選もポールだった為、速さはあるので後はぶつからず落ち着いて走り切るだけだと思い、チーム全員がミスなくレースを展開し、多少のアクシデントはありながらも大きなロスではなく、良い形でリードを築いていけましたが、朝方に大きなトラブルを抱えてしまい、トップからは差が開いてしまいました。でも、素早く直してくれたチームのお陰で8位で復帰できて、そこからは最後まで諦めずにプッシュし続けた結果4位という結果で終われたと思います。優勝できなかったのと連勝記録が止まってしまった事は悔しいですが、チーム全員が一つになって24時間先のゴールに向けて戦えた感動は大きかったですし、とても良い経験になりました。今回の反省を踏まえながら、次戦オートボリスはブッチギリしたいと思います！

中山雄一【Cドライバー】

ドライバー、チーム、マシン全てのレベルが高く、どの時間帯もクラスの中で1番速く周回を重ねる事ができました。トラブルに見舞われ順位を落としてしまいました。皆の頑張りですりつつ挽回していきましたが、4位が限界でした。ポイントは積み重ねる事ができたので、シーズン後半戦もチャンピオン獲得に向けて頑張っていきます。

蒲生尚弥【Dドライバー】

スタートから順調に進んでいましたが、車両トラブルがありタイムロスしてしまいました。それでも皆で諦めずに走り4位でゴールできたのは、チャンピオンシップを考えると良い結果だと思います。初のS耐での24時間レースでしたが、とても良い雰囲気でした。応援ありがとうございました。

三塚 隆【チーム代表/監督】

駆動系にトラブルが出てしまい修復に時間が掛かりタイムロスはしましたが、チーム全員の力で8位から4位までポジションを戻す事ができました。シリーズポイントも2位と1ポイント差となってしまいました。残り3戦優勝を目指し頑張ります。